

令和5年度 村上地区区長会要望事項（回答）

1. 側溝清掃等の環境改善補助金制度の創設について（継続）

本件については、平成30年度から継続して関連の要望を行っているところです。昨年度の回答では、過去のアンケート結果等をもとに制度設計をした上で補助金制度の創設に向け準備を進めるとのことでした。しかし、残念ながら令和5年度予算には計上されず、長年の要望の実現は先送りとなりました。

この間、各町内においては高齢化の進行等が原因で、以前にも増して共同作業の実施が困難になっております。町内の予算を投じ、業者への委託により清掃を実施している町内も散見され、補助金の創設要望の声は年々大きくなってきているのが現状です。

前年度の制度設計の結果をもとに、来年度には制度創設を実現いただけるよう、再度要望いたします。

【回答】

市内各集落における側溝清掃の実態を把握するために実施したアンケート調査において、高齢化の進行等により、既に側溝清掃を業者委託により実施している集落や、今後業者委託を検討している集落が増えてきている状況を把握したところです。

補助金創設に向けた制度内容について研究を進めており、予算措置も含めてさらに検討を進めてまいります。

（回答：環境課）

2. 通学路となっている歩道の改修について（新規）

市道堀片羽黒口線の工藤酒店付近交差点～電政社までの区間において歩道の損傷が激しく、舗装の剥がれにより段差や水たまりが生じ、歩行が困難で危険を伴う状況となっております。この路線は、周辺町内の児童・生徒の通学路となっており、多くの世代が利用している路線であることから、安全確保のため、早期の改修を要望いたします。

【回答】

ご要望の箇所につきましては、通学路でもあることから舗装工事について計画させていただきます。実施時期につきましては、他の工事との発注計画の調整が必要となるため現時点で示しはできませんが、工事実施までの間は、修繕により歩行者の安全確保に努めてまいります。

（問合せ先：建設課）

3. 空き家実態調査の結果と対応事例の報告について（新規）

増え続ける空き家については、環境や景観の悪化、さらには周辺に危険が及ぶことにもつながり、町内でも対応に苦慮する場面が多く、近年大きな課題となっております。

情報共有と今後の対策検討につなげるため、市で昨年度実施した空き家実態調査について、調査結果の報告をお願いいたします。併せて、管理不全の空き家に対応した事案で好例がありましたらご教示いただけるよう、要望いたします。

【回答】

空き家調査にあたっては、皆様から多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。調査結果につきましては、近日中に市報等でご報告いたします。

また、管理不全な空き家の対応については、通学路の沿線にある空き家の屋根瓦が落下する恐れがあることから屋根瓦の一部を撤去する緊急安全措置を講じたほか、倒壊等の恐れがある危険な空き家を特定空家に認定し、行政代執行による除却を実施しております。

(問合せ先：市民課)

4. 防災意識啓発の取組強化について（新規）

近年多発する自然災害に対しては、日頃から防災意識を高め、迅速な避難行動につなげるなど、命を守る行動が重要となります。このことは、昨年度市内でも大きな自然災害が発生していること、実際の避難行動も多くの地域で行われたことなどから、各町内も実体験として痛感しているところです。そこで、防災意識の啓発の取組を強化し、避難行動についての知識を高めるため、令和3年5月からの新たな避難情報に関するポスターを全町内に配布いただけるよう、要望いたします。

【回答】

ご要望のありました、避難情報に関するポスターについては、新潟県に確認したところ200枚程度の在庫があるとのことでしたので、希望する町内に配布させていただきます。

なお、避難情報につきましては、令和4年度に全世帯に配布した「防災ハンドブック」に掲載しているほか、今年度配布を予定している「暮らしの便利帳」につきましても大幅に内容を見直し掲載する予定としています。

また、出前講座におきましても、「防災ハンドブック」の見方をテーマに講座を行い、避難情報・避難行動に関する啓発に努めております。

(問合せ先：総務課)

5. 災害避難所の対応改善について（新規）

昨年8月の豪雨災害では、当地区でも多くの方が避難を行っています。避難場所となった小学校体育館では、夜間雨が降り続いたこともありかなり蒸し暑い状態でした。高齢者や幼児などをはじめとする避難者の体調に配慮する必要があることから、空調設備のある教室等を開放するなど、避難所の対応改善について要望いたします。

【回答】

昨年8月の大雨の際には、三面ダム of 緊急放流の予告があり、短時間で避難所設営を行うことになりました。このため避難した皆さまには、命を守るための最低限の準備となり、ご不便をおかけしました。

冷房施設のある教室等についても活用するようしておりますが、面積にも限りがあるため、高齢者等で配慮の必要がある人を優先し、利用していただくこととなります。

今後、避難所の環境改善に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いします。

(問合せ先：総務課)

6. 有害鳥獣対策について（新規）

昨今、市内各地でクマなどの有害鳥獣の目撃情報が相次いでいる中、先日新潟県は「クマ出没警戒警報」を発表し、県民に向け一層の注意を呼び掛けているところです。

当地区内の中洲公園付近でも目撃情報がありました。中洲公園は、周辺住民の方を中心に多くの方が利用される場所であり、十分な警戒や対策が必要と考えます。タイマーで定時に音で威嚇するなどの実効性ある対策を検討いただきたく、要望いたします。

【回答】

有害鳥獣対策においては特に市街地被害防止への対応として、通報があれば現場の状況確認を行い、まずは周辺の区長や学校関係等への警戒情報を流し、人身被害防止に努めているところです。

今年度は、出没時の初動体制を迅速に行うためのツキノワグマ出没対応訓練を実施するとともに、県の協力を得てクマの動きを常時監視する検知カメラの設置を検討し、より対策を進めていきているところです。

これからもクマへの危険防止も含めた啓発等を進め、住民の安心安全に努めてまいります。

（問合せ先：環境課）

7. 市公共施設マネジメントプログラムの進捗状況の報告・説明について（新規）

「村上市公共施設マネジメントプログラム」については、令和3年度に公表され、今後の公共施設の見直しを進めていくこととしています。公表からこれまでの取組の進捗、現段階での方向性や全体像など、市民がこの取組に対して理解を深められるよう、機会を捉え説明をお願いいたします。

【回答】

市では、令和3年3月に公共施設マネジメントプログラムを公表し、461ある施設の見直しに取り組んでおります。この取組では、利用状況や管理コストを可視化して関係する方々との合意形成を図り、課題を共有しながら進めることといたしており、令和3年度、4年度の2箇年で、31施設の取組が完了いたしました。

公共施設マネジメントプログラムでは、取組の中で生じる課題を踏まえ、都度、施設の方向性などを見直しながら進めることといたしており、毎年度、時点修正したものを市ホームページで公表しております。また、具体的な方策を決定する過程において、地元区長をはじめ関係者の皆様へご説明申し上げて、市民の皆さまのご理解をいただきながら進めさせていただいております。

この取組を確実なものとするためには、市民の皆さまのご理解とご協力が必要不可欠でありますので、今後も、機会を捉えて進捗状況や施設の方向性、具体的な取組内容などをお伝えし、課題を共有しながら進めてまいりたいと考えております。

（問合せ先：企画戦略課）